

『放課後子ども教室』とは…

放課後子ども教室は、小学校の放課後を活用した地域の方々と子ども達のふれあいの時間です。地域の方々の協力を得て、市内全17小学校で、さまざまな遊びや軽スポーツなどを行っています。



◆目的

地域の教育力を活用して、たくましい子ども達を社会全体で育てること

◆活動について

【開催時期】 6月～3月

27年度・243日

(各校区・年間15回程度)

【開催時間】 放課後1時間くらい

【場 所】 市内各小学校

体育館、運動場、教室等

【対象児童】 主に小学2年生

H27年度・609人

(校区によって、対象学年は異なる)

【指 導 者】 H27年度・287名

(元教員、元会社員、主婦、保護者等)



活動形態

地域の方の特技や趣味を活かして、子ども達と活動しています。



主な活動内容

◆昔あそび

お手玉、お正月あそび、手作り輪投げ、竹細工(竹馬、水鉄砲、ぽっくり)等



◆スポーツ

グラウンドゴルフ、風船バレー、カローリング、縄跳び、ユニホック等



◆文化・芸術

戦争についてのお話、楽器演奏、民謡、盆踊り、絵手紙、書道、七夕飾り等



◆体験活動

生け花、お抹茶、寄せ植え等



各校区ごとに、校区コーディネーター1名、安全管理員2名、サポーター（ボランティア）数名がみえ、子どもたちが楽しく、安全に活動できるよう支援しています。

コーディネーター（全体の企画・運営）

安全管理員（活動が安全に行なわれること等の支援）

サポーター（あそびの紹介や、活動のサポート）



活動の流れ（地域の方々）

①準備・打ち合わせ



②子どもたちへの説明



③活動



④当日の振り返り
次回の打ち合わせ



活動の中で…（子どもたちに対して）

◇整理整頓



◇始めと終わりのあいさつ



◇話の聞き方



楽しい活動を作っていくために、ただ遊ぶだけではなく、整理整頓・始めと終わりのあいさつ・話の聞き方などにも気をつけて活動を行っています。

また、事務局には全体のコーディネーターとして3名の元教員の方がみえ、全校区を訪問しています。困ったときには、校区で抱え込まずに、経験のある先生方に助言してもらっています。

感想

(児童や保護者より)



(児童より)
「楽しかった！
また、やりたい♪」

(保護者より)
活動後、毎回嬉しそうに話してくれています。子どもの興味をそそる内容ばかりで、楽しみにしています。



(保護者より)
学校や家庭では経験できない活動も多く、地域の方々にお世話になり、ありがたいです。

感想

(地域の方より)



子どもたちの笑顔に、パワーをもらっています。活動を通して、こちらにも元気になります！

◇地域の大人と子どもの絆が深まり、両者ともに楽しむことのできる充実した時間を過ごしています。